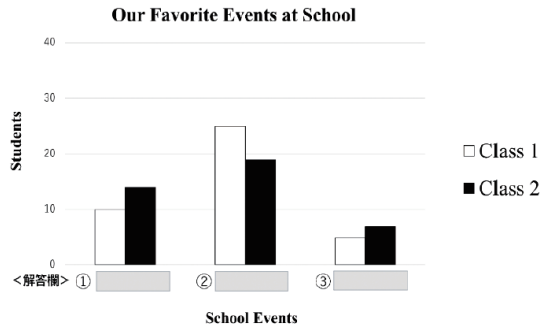
●読むこと
英語 6　音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読む

次の【文章】を読み、【グラフ】の中の①②③の　　に入る学校行事を、下の＜選択肢＞の中からそれぞれ１つ選び、＜解答欄＞に移動させなさい。

【文章】

The students in Class 1 and Class 2 chose their favorite school events from the music festival, the school trip, and the sports festival. They like the school trip the best. The sports festival is more popular in Class 2 than in Class 1. Only a small number of students in both classes chose the music festival.

【グラフ】



＜選択肢＞

School trip	Sports festival	Music festival

※実際の画面の配置とは異なっている。

出題の趣旨

音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

「読むこと」の目標である、必要な情報を読み取ったり、概要や要点を捉えたりするためには、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けておくことが重要である。そのためには、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図るとともに、言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行うことが求められる。

英語 6 では、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかを把握するために、文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容（1）英語の特徴やきまりに関する事項

イ　符号

ウ　語、連語及び慣用表現

エ　文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
6		1	①Sports festival ②School trip ③Music festival と解答しているもの	67.7	◎
		2	①Sports festival のみ正しく解答しているもの	5.3	
		3	②School trip のみ正しく解答しているもの	5.4	
		4	③Music festival のみ正しく解答しているもの	9.7	
		5	①②③とも正しく解答していないもの	10.5	
		99	上記以外の解答	0.3	
		0	無解答	1.1	

（N= 861,464 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 67.7%である。文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する本問では、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読むことはおおむねできている。解答類型２の反応率 5.3%、解答類型３の反応率 5.4%と比較すると、誤答の中では解答類型４の反応率が 9.7%、解答類型５の反応率が 10.5%と高い。

○　解答類型４に該当する生徒は、“Only a small number of students in both classes chose the music festival.” というグラフに関する情報を読み取ることはできているが、“They like the school trip the best. The sports festival is more popular in Class 2 than in Class 1.” など、比較級や最上級を用いたグラフに関する情報を読み取ることに課題があると考えられる。

○　解答類型５に該当する生徒は、どのグラフに関する情報も読み取ることができていないと考えられる。“Only a small number of students in both classes chose the music festival.” というグラフに関する情報を読み取ることと “They like the school trip the best. The sports festival is more popular in Class 2 than in Class 1.” など、比較級や最上級を用いたグラフに関する情報を読み取ることに課題があると考えられる。

○　令和５年度【中学校】英語5（１）では、情報を正確に読み取ることができるかどうかをみるために、ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題を出題し、正答率は 56.6%であった。

３．学習指導に当たって

（１）意味のまとまりを捉えながら英文を読ませる

短い文章から情報を読み取るためには、文構造を適切に捉えることが大切である。英文を読む際には、主語と動詞、副詞句、前置詞句などの意味のまとまりを捉えながら読ませることが考えられる。修飾によって主語が長くなったり文の構造が複雑になったりしても、意味のまとまりを捉え、情報を読み取ることが大切である。

例えば、英語６においては、“The students in Class 1 and Class 2 chose their favorite school event from the music festival, the school trip, and the sports festival.” という文を読み、どの部分が主語で、どの部分が動詞であるかを考えさせ、“The students in Class 1 and Class 2” が主語で、“chose” が動詞であることを確認することが考えられる。また、“the best” “more” などの比較を表す表現や “only” などの限定する表現に着目して、文章を読ませることも考えられる。英語６のようにグラフや絵、写真などを説明する文章を理解するためには、“I” “you” 以外の “the sports festival” などの名詞が主語になる英文を読んだり、事実を伝えたりする活動を行うことも大切である。

これらの文章の意味を十分に理解させた上で、文の意味が聞き手に誤解なく伝わるように、意味のまとまりを意識して適切に区切りながら音読できるように指導することも考えられる。

（２）新出語句や分からない表現を各自で調べるようにする

生徒が文章を読む前に、単語カードやデジタル教科書の機能を用いて学級全体で新出語句や重要語句を指導する方法も考えられるが、生徒に文章を読ませ、新出語句や分からない表現を、教科書の巻末、辞書、１人１台端末を用いて、各自で調べたり、意味を推測させたりする時間を確保することも大切である。分からない表現は生徒それぞれで異なるため、生徒の学習状況に応じて個々で調べさせたり、調べた内容をペアや学級全体で共有したりして、複数の例文から語句や表現がもつ意味を理解させることも考えられる。

（３）学習活動の例

- 文章を読み、文中の主語と動詞はどこにあたるのかを確認したり、日本語との語順の違いを確認したりする活動
- 文章を読み、読んだ内容をイラストやグラフに表す活動
- 既習の語彙や文法事項などを含む文章を繰り返し読む活動